

GOGO! 宮崎労働局



発行：宮崎労働局
宮崎市橋通東3-1-22
宮崎地方合同庁舎
TEL0985(38)8821

令和6年8月統計

- 【 労働災害発生状況 】 死亡災害11件、死傷災害971件
(年計・コロナ感染症を除く休業4日以上の死傷災害)
- 【 有効求人倍率 】 1.31倍

宮崎労働局HP



宮崎県に中小企業・小規模事業者への支援を要請

10月5日から宮崎県最低賃金が952円に改定され、宮崎県内で働くすべての労働者に適用されます。

一方で、円安や資源高を背景とした原材料費等の高騰に加えて、多くの事業者が十分な価格転嫁ができていないなど、先行きへの

不安や懸念が高まっていることから、宮崎県最低賃金審議会において中小企業・小規模事業者に対する各種支援策の拡充・新設などの諸対策の検討を求める付帯決議が付されました。

これを踏まえて8月21日、宮崎労働局の坂根労働局長は宮崎県を訪問し、宮崎県独自の支援策の拡充・新設の検討を要請しました。

宮崎県の柏田商工観光労働部次長は「中小企業・小規模事業者においては最低賃金額の引き上げ以外にも様々な課題を抱え厳しい状況であることは承知しており、宮崎県としての支援策を検討したい。また、引き続き労働局と連携を図り、県内の中小企業・小規模事業者を支援したい」と述べました。



宮崎県 最低賃金

令和6年
10月6日から
改定
952円
前年比
55円UP

今年のポスターは、長州力さんです!



宮崎県柏田次長（左）と坂根労働局長（右）



インターンシップ開催レポート

宮崎労働局は、8月26日からインターンシップを開催し、労働基準監督官コースに参加をいただきました。あいにくの台風の中でしたが、真剣に時に楽しく、実際の業務を体験してもらうことができました。

参加者Report 1 ★志望動機を教えてください!

企業研究などを行っている中で、人手不足や働きがいを理由に、サービス残業や厳しいノルマを強いられている業種はまだ残っているという印象を受けました。そして、労働基準監督官は、さまざまな労働問題の解決に努め、働く人の安全や健康を確保し、また、労働災害を被った方への補償を行い、人を守ることができるという仕事に魅力を感じ、労働基準監督官コースへの参加を希望しました。

参加者Report 2 ★感想をお願いします!

特に、印象的だったのは、労働基準監督官の模擬体験です。労働基準監督官として相談の内容をもとに「申告・相談票」を作成し、それをもとに事業場での調査を行い、「是正勧告書」を作成、交付をする、という一連の流れを体験することで、業務への理解を深めることができました。また、雇用主も労働者も心身共に健康に働くことができるように中立の立場で働く人々を支える監督官の重要性と魅力を感じ、より一層興味を惹かれました。



宮崎労働局は、9月6日にくるみん及びユースエールの認定
通知書交付式を開催しました。

坂根労働局長は、株式会社南九州みかど、旭有機材株式会社及び有限会社サンエックに1回目のくるみん認定通知書を、A's社会保険労務士事務所にユースエール認定の通知書をそれぞれ交付しました。

順次、受賞企業のコメントを掲載します。今月号では、

A's社会保険労務士事務所をご紹介します。



ユースエールを目指した理由・・・

「人を大切にする企業づくりの支援」をスローガンとしている社会保険労務士の会員として、また、社労士としてお客様の各種認定取得のお手伝いをさせていただいていることから、「隼より始めよ」と取得を目指しました。

認定企業のご紹介



9月6日の認定通知書交付式の様子

詳しくは二次元コード（宮崎労働局HP）からご覧ください。



ユースエールの認定基準 の中で特にアピールしたいもの・・・

「えるぼし」をはじめ、「ひなたの極み」「健康経営優良法人」等の認証をすでに取得しています。働きやすい職場となるよう改善を続けていて、退職者が少なく、定着率の高さには自信があります。職員に再雇用の上限まで働いていただけるよう、待遇等も向上していきたいです。

認定後の感想、今後の取組や意気込み・・・

仕事ではストレスを感じることもあると思いますので、職員には休暇をきちんと取得してもらい、仕事とプライベートのオン・オフの切り替えができる職場を目指していきたいです。これからも安心して長く勤められる職場づくりに取り組んでいきます。

～地域の課題解決に向けて～

えびの市とハローワーク小林による就職説明会を開催しました！

ハローワーク小林ではえびの市と共催のもと、「えびのインター産業団地企業就職説明会」を開催しました。7月22日、7月29日、8月5日、8月19日の4日間、えびの市役所、ハローワーク小林の両会場で行われました。

日頃からえびの市と地域の課題解決に向けた連携をしている中で「地域の潜在的な労働力を活かし、地元を盛り上げたい」という両者の思いがあり今回の説明会は実現しました。開催にあたり、えびの市、ハローワーク小林、参加企業と打ち合わせの中で、いかに企業の魅力が参

加者に伝わるか、労働条件を含めた話し合いが行われ、企業努力の甲斐もあり、ワークライフバランスが保てる多くの求人が提出されました。その情報をより多くの求職者へ提供するために、新聞折り込み広告、えびの市・ハローワーク小林のホームページや求職者マイページへの発信にて周知しました。



説明会は参加企業3社（12求人：募集人数32人）に対し、参加者数は延べ204人となり盛況に終わりました。今回の開催にあたり、参加者が集まるか企業側の不安もありましたが、最近の求職者の傾向などをえびの市と情報共有し、さらに企業に伝えることで求職者ニーズを把握してもらい求人条件を考えてもらいました。その企業努力が今回盛況となった理由の一つとしてあげられます。この取り組みを活かし、地元の労働力とのマッチングしやすい環境づくりに今後も取り組んでいきたいと思っています。

えびの市役所会場外観
来場者が参加しやすいよう工夫しています。